



たか はし まさ いち
高橋 政一
(市民クラブ)

●積雪時の通学路の安全対策は怎么样了

質問

今季は雪が多く、積雪時の通学は危険が伴う。通学路の除雪と歩道の確保はどうなっているのか。歩道のない通学路の通学状況、スクールバスの利用状況はどうなっているのか。通学上の安全確保と課題について問う。

市長

除雪は通学路や主要幹線道路を優先的に行っており、通学路は午前7時までに完了するようにしている。除雪作業で歩道に雪が堆雪した場合には、別途排雪作業を実施している。歩道の整備は優先順位を定め計画的に進めている。

教育委員長

歩道のない通学路の通学については、全校集会や学級指導の中で安全指導を繰り返し行っている。胆沢区のスクールバスの利用は通常運行に支障のない場合に限り、冬期間の利用を認めている。衣川区については安全確保を図るため通年利用を認めている。学校や道路設置者、警察等で「通学路安全推進事業」を行い、学校から出された危険箇所すべてを合同点検し、歩道の整備やカーブミ

ラーの設置など改善を進めている。

質問

歩道の整備状況はどうなっているのか。

市長

計画に従って平成25年度は1200メートル整備をし、平成26年度は1900メートル整備予定となっている。

質問

前沢区内国道4号線の歩道橋が事故のため使用できなくなつて5カ月近くたつ。その間小学生は1km近く遠まわりをして通学しているがいつ復旧するのか。

市長

国道事務所から歩道橋の工事は平成26年度以降と聞いている。当面の対応として2月14日に仮設の横断歩道を設置する。



除雪により堆雪された歩道



おい かわ よし お
及川 善男
(日本共産党)

●行財政改革は、急がなくともよい事業は先送りし、市民の暮らし応援が前提ではないか ●江刺区内の診療所は、市直営で運営すべきだ

質問

定員適正化計画並びに事務事業・公の施設の見直しで、市長は市民と職員に対し、当然のごとく痛みは避けられないと繰り返している。

私は財政が厳しいというのであれば、新市建設計画をも見直し、急がなくとも良い大型事業は先送りし、市民の暮らし応援の市政を優先すべきと考えるが市長の見解を伺いたい。

市長

事務事業・公の施設の見直しは、人口減少や高齢化社会が進む下では避けて通れない問題だ。合併メリットを生かし効率的な行政運営を行うものだ。

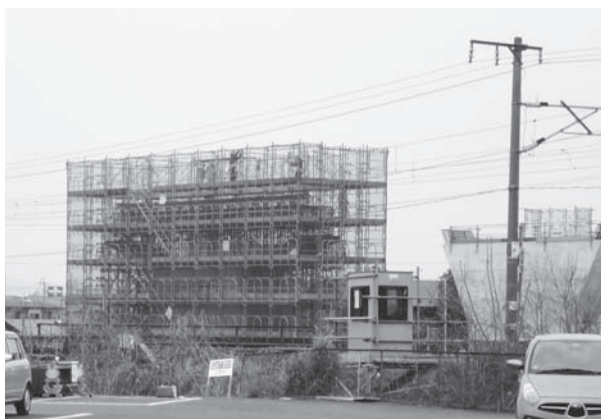
質問

「医療改革プラン」の見直しは、市長が重要な4本柱と掲げた水沢病院の建て替え問題の白紙再検討、前沢・衣川診療所の入院ベット休床化の一時凍結など根幹が崩れた。このようなプランは撤回すべきでは

ないか。またプランでは、江刺区内の診療所は、今年度で廃止と現状規定しているが、市直営で運営すべきではないか。

市長

これまで市民や議会からいただいた意見に真摯に耳を傾け、熟慮に熟慮を重ねた結果、一部修正して決定した。プランを着実に実施できるよう、今後とも努力していきたい。江刺区内の診療所は、今後とも安定的な運営ができるという前提で、検討している。



40数億円を投じて建設中の市道久田前田中線